

# 輪ギク「岩の白扇」の8月・9月出し 摘心栽培の電照打ち切り時期

柴田浩・諏佐斗志恵

## 1. ねらい

輪ギク生産は、ここ数年で大きく変化し、特に品種の変換が急激に進んで生産者は戸惑いを感じている現状である。また、変換された品種は愛知県等の栽培マニュアルで栽培されており、秋田県の栽培指標作成が望まれている。夏秋ギク型輪ギク品種の「岩の白扇」は、主力品種であった「精雲」に替わって全国的に生産が拡大され、本県においても導入が進んでおり、8月・9月出しにむけた電照による開花制御技術の確立が望まれている。このようなことから「岩の白扇」の摘心栽培における電照打ち切り時期と生育開花反応を明らかにしながら、8月盆・9月彼岸出しのための好適電照打ち切り時期について検討した。

## 2. 試験方法

- 1) 試験年次 平成13年～14年
- 2) 試験場所 農試、ガラス温室
- 3) 供試品種 「岩の白扇」
- 4) 試験区構成

作型	区名	電照期間
8月出し	6.10消灯	4/12～6/10
	6.15消灯	4/12～6/15
	6.20消灯	4/12～6/20
9月出し	7.28消灯	5/13～7/28
	8.1消灯	5/13～8/1
	8.6消灯	5/13～8/6

- 5) 試験規模 1区36株
- 6) 耕種概要

作型	さし芽時期	定植時期	摘心時期
8月出し	3月25日	4月12日	4月19日
9月出し	4月25日	5月13日	5月20日

電照方法:定植から消灯まで深夜5時間(2:00～3:00)70W白熱灯使用。

再電照方法:消灯10日後から5日間深夜3時間(0:00～3:00)70W白熱灯使用。

栽植方法:12cm×12cm6目のフラワーネットを使用し、中2目抜きの4条植え。

施肥量:基肥(kg/a)N、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、K<sub>2</sub>O各1.5。

B-ナイン処理3回(濃度):①消灯10日後(2,000倍)、②再電照時(2,000倍)、③摘蕾前(1,000倍)いずれも1株5cc散布。

## 3. 結果及び考察

### 1) 8月出し

(1) 8月盆の需要期を8月5日～11日の7日間とすると、6月10日電照打ち切りでは切花盛期が8月3日で需要期切花

率は41%、6月15日打ち切りでは8月11日で需要期切花率は57%、6月20日打ち切りでは8月16日で需要期切花率は6%程度であることから、8月盆出しのための電照打ち切り適期は6月の第3半旬(6月11日～15日)と思われる(表1)。

(2) 扁平花(奇形)の発生はいずれの区もなく、商品化率(出荷規格L以上)は80%程度確保できた(表2)。

(3) 生育ステージ別所要日数は、消灯から切花盛期まで55日程度を要した(表2)。

以上のことから、8月盆出しのための電照打ち切り適期は6月の第3半旬(6月11日～15日)、消灯から切花盛期までの所要日数は55日程度である。

### 2) 9月出し

(1) 9月彼岸需要期を9月13日～19日の7日間とすると、7月27日電照打ち切りでは切花盛期が9月15日で需要期切花率は77%、8月1日打ち切りでは9月18日で需要期切花率は73%、8月6日打ち切りでは9月23日で需要期切花率は8%程度であることから、9月彼岸出しのための電照打ち切り適期は7月の第6半旬(7月26日～30日)と思われる(表3)。

(2) 扁平花(奇形)の発生は4～7%であり、商品化率(出荷規格L以上)は80%程度確保できた(表4)。

(3) 生育ステージ別所要日数は、消灯から切花盛期まで50日程度を要した(表3)。

以上のことから、9月彼岸出しのための電照打ち切り適期は7月の第6半旬(7月26日～30日)、消灯から切花盛期までの所要日数は50日程度である。

## 4. まとめ

夏秋ギク型輪ギク品種「岩の白扇」の8月盆出しのための電照打ち切り適期は、6月11日～15日で、消灯から切花期までの所要日数は55日程度である。

9月彼岸出しのための電照打ち切り適期は、7月26日～30日で、消灯から切花期までの所要日数は50日程度である。

8月盆出しでは扁平花の発生はなく、9月彼岸出しでは4～7%程度あるが、いずれも商品化率は80%程度確保できる。

表1 8月出荷摘心栽培における電照処理が開花に及ぼす影響 (2002年)

区名	切花期間 <sub>v</sub>			需要期 <sub>w</sub> 切花率 (%)	消灯～ 出蕾期 (日)	消灯～ 切花期 <sub>x</sub> (日)
	始期 (月日)	盛期 (月日)	終期 (月日)			
6.10消灯	7.31	8.3	8.13	41.2	22	54
6.15消灯	8.7	8.11	8.17	57.5	23	57
6.20消灯	8.12	8.16	8.19	6.1	24	57

v: 切花期間: 始期が10%、盛期が50%、終期が90%切花時。

w: 需要期切花率: 8月5日～11日(7日間)に切花した率。

x: 切花期: 切花盛期を切花期とする。

表2 8月出荷摘心栽培における電照処理が切花品質に及ぼす影響 (2002年)

区名	切花長 (cm)	茎径 (mm)	切花重 (g)	調整重 <sub>y</sub> (g)	扁平 花率 (%)	商品 <sub>z</sub> 化率 (%)
6.10消灯	90.4	6.0	67.5	63.5	0	78.5
6.15消灯	104.5	6.3	80.3	62.1	0	88.2
6.20消灯	105.4	6.4	85.3	63.1	0	90.8

y: 調整重: 切花長80cmで下葉を欠いた状態に調整した重さ。

z: 商品化率: 切花長80cm以上、調整重50g以上、草姿バランス良く、持ち上げて茎の曲がらないもの率。

表3 9月出荷摘心栽培における電照処理が開花に及ぼす影響 (2002年)

区名	切花期間 <sub>v</sub>			需要期 <sub>w</sub> 切花率 (%)	消灯～ 出蕾期 (日)	消灯～ 切花期 <sub>x</sub> (日)
	始期 (月日)	盛期 (月日)	終期 (月日)			
7.27消灯	9.12	9.15	9.18	77.2	19	50
8.1消灯	9.15	9.18	9.21	73.2	20	48
8.6消灯	9.20	9.23	9.26	7.9	18	48

w: 需要期切花率: 9月13日～19日(7日間)に切花した率。

v, x: 表1に同じ

表4 9月出荷摘心栽培における電照処理が切花品質に及ぼす影響 (2002年)

区名	切花長 (cm)	茎径 (mm)	切花重 (g)	調整重 <sub>y</sub> (g)	扁平 花率 (%)	商品 <sub>z</sub> 化率 (%)
7.27消灯	93.9	5.8	89.2	71.7	5.9	77.0
8.1消灯	97.7	6.1	100.8	84.2	7.2	78.9
8.6消灯	101.7	5.8	98.0	75.3	4.3	79.7

y, z: 表2に同じ